





紅毛流油水藥之書

崎陽 吉雄永純譯

アライノ根 ▲ヲ、リヨム、カキスム
 一 アテキスアルテイヤ 三十二 朶生
 一 ^{小苗}セイメンア子イ千ヤ 四十八 朶
 一 ^{クイ}アテキスシキルラア 二十四 朶生
 一 フロウレスカモメイリ 各搗碎 四十八 朶
 一 セイメンヘ子カラシイ 八 朶
 一 ^{エゴバ}セイメンリイニイ 同 八 朶
 右六味水八百錢入レ一成程ニ煎シ識ニ煎様切
 先水四百錢ノ内工葉ヲ皆入レ杖ニテ寸取テ置
 其上上又水四百朶入レ煎之前ニ取タル四百朶
 ノ寸ニ煎シ語タル時煮流シ渣ヲ去

油百二十支ニ右花ニテモ葉ニテモ拭目百二十
錢入器ノ蓋ヲ取テ天火ニテ煎水氣去リ布ニテ濾シ器
呼取リ其後微火ニテ煎水氣去リ布ニテ濾シ器
ニ納メ蓋事ニ

又方

前ノ如ク花実葉共ニ石臼ニテ搗掛目三十二支油
ニ百八十支此モ十五日天火ニテ干シ渣ヲ剪流ニ取
也又花ヲ此上ニ三十二支搗入也如是三度入ナリ
后ニ又花モ実モ搗其汗ヲ絞リテ掛目三十二支又
油ノ内ニ入也水氣去用ニ惣テ水氣去ル見様ハ一
滴火上ニ落テ見ルニハ千ト不飛ハ水氣去ト
知ルベシ又ハ紙捻ニ附火ヲ燈ニ見ルニ能ク移ル
ハ水氣去ル也

ヲ、リヨムリニフリコウリヨムニカテルレ
ストリヨム

一六 一七 一八
一 燒酒 スヒイルテスヒイニイ 三十二支
一 燒酒 スヒイルテスヒイニイ 百九十二支

右リニフリヨ焼耐ニ漬シ能、洗ヒ油ニ入水氣
去迄煉ニ主治脊葛ノ痛ヲ和个午足痺レ引ツル
ニ吉能ク筋ヲ延ス雞卵ノ黄一ツニ此油ハ支交
合ホツシニ付痔ニ付テ大効

一 乳香 ヲ、リヨムヨリハアス 二十四支
一 薔薇花油 ヲ、リヨムヨリハアス 九十二支
一 燒酒 スヒイルテスヒイニイ 十六支

右三味能交合水気各迄煉ル也

主治骨節卒急ニ吉

ヲ、リヨムミレヘー夕ア

レヘー夕ア

三十六支

一每虫

一子油、リヨムミニイヌ

九十六支

右夏中土用ニ日干シ精氣呼取 主治諸ノ毒虫ニ
刺レタルニ塗ハ痛ミ直ニ和ニ小便不通ノ時陰
茎ノ水道ニ塗ハ良通スル也

ヲホウルム

一雞柳

、ヒイ

十箇

右能煮黃計取リ鍋ニ入イリ栗色ニ成ル迄交ル
也 主治毛生頭瘡ニ良或ハ乳ノ癩ノ切タルニ良
皴ニ吉耳ノ痛齒ノ痛火傷ノ堅ク成タルニヨシ

一黒ツ

ヲ、リヨムヲウリイニイ
ウ、實知名敷肉主ト云本ノ實之代リニ掃ノ実ヲ用

右実ヲ水ヒタクニ入煮出シ油九十六支入微火
ニテ水気各迄煉詰ル也 主治セイニウノ痛ヲ
止骨節疼痛ヨシ

一野菊花

ヲ、リヨムカモメリイ

百四十支

一子油

ヲ、リヨムコミニイ

同

右花ヲ白ニテ搗テ油ニ漬置天火ニテ干シ精氣
ヲ呼取其后水気各迄微火ニテ煉詰也 主治諸腫
物ヲ温メ痛ヲ止或ハ毒氣ヲ引上ル也 外科要用
ノ品也 腫ヲ散ス故ニ肛門ノ突菜ニ加カタフヲ
スヲニモ加ナリ或セイニウノ牽引スルニ吉惣

于脊筋ノ痛ニ加也

ヲ、リヨムエヘレシイ

六十四支

一^{切中}フ^油、リヨムコニス

百九十二支

右花ヲ搗油ニ入復中日ニ于冬ニ至リ微火ニ于煉水気ヲ去造煉用花銅気ヲ忌主治能温メ于收斂ス金瘡當瘻ニ用内股シテ膀胱ノ痛ヲ去腕豆ノ煮汁ニ于三四滴落シ飲ス小便ヲ通ス

一^油 薔薇花

ヲ、リヨムコニス

六十四支

一^油 右調様前ニ同シ主治打撲或ハ關節ヲ突タルニ

百九十二支

ヨシ或痛処ノカタフラスマニ加熱強キ腫ヲ散

ス一本癩瘡ニ付テ痛ヲ止頭瘡ニ付テヨシ

一^油 白呂食

ヲ、リヨムレリヨム口ム

六十四支

一^油 右調合前ニ同シ主治能膿シ痛ヲ和テ解シ温散

百九十二支

ス骨牽引ニ良シ痛ム上ニ塗也

一^油 芸香

ヲ、リヨム口ム

六十四支

一^油 右調合前ニ同シ主治小兒驚風ニ

百九十二支

ル積気強症ニ肛門ヨリ突菜スルニ此油加

一^油 竜葵

イメニソラア子ム

六十四支

一 油
一 ヲ、リヨムフミニス

百九十二 匁

右調前二同シ主治能收斂ス油計用ル時ハ癩瘡

二付痛ヲ和ケ頭瘡ニ付テヨシ

一 切中油
一 ヲ、リヨムエベレシイ 九十六 匁

一 葡萄酒
一 ヲ、リヨムエベレシイ 六 匁

一 没薬
一 ヲ、リヨムエベレシイ 八 匁

一 玉乳香
一 ヲ、リヨムエベレシイ 同

一 蜜産日本
一 ヲ、リヨムエベレシイ 三十六 匁

一 ヲムエレミニイ 日 三十六 匁

右六味先ヲ、リヨムエベレシイウエニヲ入水
気衣迄微火ニテ煉リ醒際ニ餘棄ノ末ヲ入交合
セ澄シ置用主治打身專ラ金瘡ニ用血ヲ止ル也

又方

一 ヲムエレミニイ 十二 匁

一 コムテレメンテイナ 十六 匁

一 玉乳香 ステキス 四 匁

一 没薬 ヲ、リヨムエベレシイ 四 匁

一 葡萄酒 ヲ、リヨムエベレシイ 四十八 匁

右煉様前二同

一 蜜産日本 ヲ、リヨムエベレシイ 三十二 匁

一 樟腦 ヲ、リヨムエベレシイ 八 匁

一 日本二十 子スヘ子タ 一 匁

一 焼酎 スヒイルテスヒイニイ 六 匁

右能、交合用至治脚気湿気ノ痛其外諸腫物痛
ミニ吉打身ニ吉

又方

一 蚕産、リヨムテレメニテイナ 十六 匁
一 石鹼日本ナシ 二 匁
一 樟腦 一 匁
一 樟腦 一 匁

右調様前二同

バルサム

一 没薬 六 匁

一 コルホウニヤ 四 匁

一 乳猪リバアスム 十六 匁

一 四物油、ヒイミスナ 八 匁

一 四物油、リヨムアベレシイ 四十八 匁

右調様煉合用

至治金瘡第一ノ要薬也能ク痛ヲ止或石淋小便
ノ関ニハ白湯ニテ三四滴用

一 延花 八 匁
一 没薬 八 匁

一 川葛蒲、ア、テキスイリアテスフロウレンシイ 八 匁

右ラテキスヲ割ミアセイキイニ浸シ置六七日

程シテ香油百四十四匁入水気迄微火ニテ煉

也此油夕ラア子スノ膏ニ入ル也

狸油

右皮膈ヲ忝リ能洗塩水気ニテ能煎シ渣ヲ忝リ
ヨリヨムヲ見合水気迄煉器ニ入置也 至治

筋ヲ延或中尺効ニ

ヲ、リヨムテルヲ

此ハ倭ニテハ越後国クノウツ村ヨリ出也石田地

主治脊筋疼痛ニ措入テヨシ或寒氣ニ中リ痛ミ

塗テヨシ或小兒ノ頭瘡ニバジリコムニ交合付

テヨシ又白癜風杯ニハ付テ甚効アリ

カンフルブラントウエン

又サハイトルニ四支如使神如也
三金瘡洗茶用ル時ハ手引ノ加減湯
六七分合使也ト有

燒酒
ヒイルテスヒイニイ

百四十四支

樟腦
カニフル

十二支

右調様ヒイスルテスニカンフル末ニシテ入器

ノ口ヲ出サル様ニメ七日程天火ニテシ精氣ヲ

呼取也 主治金瘡ノ洗茶脊筋疼痛ニヨシ或貯

氣ヲ開キ無名ノ腫物付テ勢強クハニイニレム

歟ア、クワカルシス加テ用モツトモ金瘡ニ不

加

燒酎
テニキテルエルテリア、カ

九十六支

燒酎
イ、ルテスヒイニイ

二十四支

右調合前二同 主治瘡氣ヲ開キ毒虫ニ刺レタ

ルニ付テヨシ蛇螫タ久ニホツシニ浸シ疵ノ上

ニ置其上ニ燒針アテ良打身ニ塗ル

テニキテルメラ

燒酎
ヒイルテスヒイニイ

九十六支

燒酎
メラ

十二支

右調様前二同シ 主治金瘡ニ専用工腐ヲ去諸腫

物愈際ニ付テ良骨節疼痛ニヨシ打身ニヨシ

一ニキテユルシユクシニイ

一^{琥珀}ス^コイルテスヒニイ 九十六^支

一^{琥珀}ス^{ユク}シニイ 十二^支

右調様前ニ同主治金瘡ニヨシ

一ニキテユル上ペレシイ

一ス^ヒイルテスヒニイ 百十八^支

一^加フ^花ウレス上ペレシイ 三十二^支

右調様上ペレシイ半開ニテ赤色ニ成タル時花

ヲ搗搗碎キ焼耐ニ潰置精ヲ呼取也主治午足ノ

痛或金瘡ニ付テヨシ痛所ニハ木綿ニ浸シ卷置

也骨節疼痛ニ付テヨシ耳腫或耳内鳴痛ニ水突

ニテ入テヨシ或鼻茸ニ引テヨシ魚毒ヲ解シ口

中胃熱ヲ去也

一ニキテユルア口上ス

一ス^ヒイルテヒイニイ 七十二^支

一^若ア^口上ス 十二^支

右調様ア口上ス末シテ焼耐ニ潰置天火ニ干シ

精氣ヲ呼取ニ主治小便ヲ能通耳ノ痛ニ一日三

度ツ、入テ良惣テ虫ヲ殺ス

一ニキユルコ口ウシイ

一ス^ヒイルテスヒイニイ 百九十二^支

一^紅コ^花口ウシイ 三十二^支

右調様前ニ同主治血熱ヲ清シ無名ノ腫物熱強

ニ木綿ニ浸シ卷置熱清ル也

一ア、クワア口ミイニス

右ソツビル極末ニメア、クワニ入能、振立テ
用ユ 主治諸腫臭気強キヲ洗テヨシ腐ヲ去肉
ヲ生ス膏葉ニテ不癒症ニヨシ

ア、クワヒツツテルヨウル

一冊 ア、クワカルシス

一冊 ツツテルヨウル

二百四十支
十二支

右ヒツツテルヨウル焼カエシ極末メア、クワニ
入用主治小瘡ノ爛杯ニヨシ能乾ス其外効ア、
クワヒツツテルニ同

一冊 ア、クワ口サアシイ

一冊 薔薇花

クワ口ウレス口サアシイヲ入石臼ニテ少シ汁ノ
出程搗キ加味ノ葉口傳一夜置翌日ヲニヒキニ
テ精氣ヲ取也主治能凍シムル者也必大小腸ヲ

強スル也内外ノ痛ヲ和眼病ニ専用

ア、クワヘ子キリイ

調様イノントヲ取石臼ニテ搗七採様ア、クワ
口サアシイニ同主治痔瘡洗葉ニ専用其外ノ瘰
治ニモ遺也

ラフメント

一冊 也イルテスヒーニイ

一冊 メリ口サアロム

四十八支
三支

一冊 右アサメ

右ニ味末メ焼耐ニ入器ニ入置也主治諸腫物之
洗葉又小兒ノ水瘡ニ付ニ能乾ス也
又方

一支
一支

一スロイルテスビーニイ 三十二支

一王乳香^リステキス 三支

一アロエス 同

一メラ 同

又方

一車前^中露 クワロサアシイ 十六支

一綠^青ア^クワ石ランタギイ 同

一乳^香ア^ルギイニス 一支

一カ^ンフ^ル 同

一サカアリアルビイ 一支半

右六味能、交合用痔瘡洗テ如也 八支

又方

一ヘレシヒタアト 一支

一ハシリコム

一カ^ンフ^ルア^ランドウエ 五支

右交合付ル膏ヲ忝肉ヲ生ヌ尤付ル時ア、クワ
メリクリユスニテ洗其跡ニ付ル也

又方

一アルギリニス 八支

一エ^ケヒシヤコム 同

一ヒツテルヨウ 四支

右三味極末メウエニ入交合用

白葡萄^酒又方
一ウエツトウエ

一 炭蜜 リ口サアロム

一 メリ

右能、交合用主治諸腫物痒瘡ヲ洗生肉スル也

一 赤葡萄酒 痒瘡洗葉イニキシヤウ

百六十枚

一 炭青

一 アルギイニス

一 ヒツテルヨウルアルヒイ

四枚

同

右各極末メウエシニ入交合用主治肉ヲ生又摺

剥タルニホツシニ浸シ付テヨシ又痒瘡洗也

一 赤石脂 同附藥

一 ホウレスアルメニヤ

一 カンスルブランドウエシ

右ニ味タラリト成様ニ煉合用尤常ノ焼酒ニテ

ヨシ

一 菅膏 同附藥

一 アロエス

一 スヒイルテスヒーニイ

一 カンフル

右三味合附テヨシ

エレキシルフロフロリタマテス

一 アロエス

一 軟ラ

一 コロラシイ

一 スヒイルテスヒーニイ

右調様焼酒ニコロウシイ入二日程清置上スミ

トリ甘酒ニアロエスヲ入能交煎シ又右ノ上ズ
ミ一ツ入二十日程ノ用 主治虫ヲ殺シ脾胃ヲ
健シ黄道ニ用ユ

一乳香 スヒイルテスマテリカアリス 十六圭
一乳香 リハアスム

一琥珀 ヲクシニイ 同 同 十六圭
一琥珀 ヲクシニイ

一スヒイルテスヒニイ 右九十二圭

右調様三味末メ入遣上清ヲ用ユ 主治金瘡ニ
ヨシ腐ヲ去肉ヲ生婦人子宮ヲ健シ經水ヲ廻シ

脾胃ヲ調シ 又方 十六圭
一乳香 リハアスム

一メラ 同 同

一シユクシイ 同 同
一スヒイルテスヒニイ 五十二圭

一蜜 メリロサアロム 二百八十八圭
一薔薇花 メリロサアロム 九十六圭

右調様口サアロム二日程陰干シ水ニ升手又ハ
一升五合乎鍋ニ入口サアロム入七合程煎シ布
ニテ漉渣ヲ去メリヲ入水気去迄微火ニテ煉也
主治口中一切ノ含葉膏葉カブレニ付テヨシ諸
腫物洗也

一 黃麻川 ツタリゲイリイアウリイ 同 四十八 支

一 水脂 テレメンテイシ 同 四十八 支

一 乳香 ラ 未同 四十二 支

一 松脂 コルホウニヤ 未同

一 香油 ムゼ子一フル 未同

右ハ味先ヲ、リヨムリツタリニ味鍋ニ入水五合微火ニテ煉ル若水不足ノ換ニ見ハ水ニ合計加フ前ノ通一滴水中ニ落シテ試ニ程ヨキ時セ

ヲ入解テ後錫ヲ下シ残ル葉ヲ入煉醒ス此膏初ノニ味汁テ葉氣ト油ト集テ性氣脱スル也故ニ

天水忒テ膏トナリ色ヨキ也 主治瘰癧疔諸腫

物ノ山アケカ子ルニ能引上膿ス腫物上膏也ハ

ジリコムホ分ニ加貼ス又痛アル温ノ類ニヨシ

或肉ヲ生シ痛ヲ止膿ヲ引上腫ヲ減シ又口廣キ

腫物ヲ愈シ腐肉ヲ去リ能乾シ或小瘡湿瘡湿瘡

懸瘡腹瘡便毒初發ニバジリコムホ分ニメ胎ス

テヤホムホリゴス 性寒 百九十二 支

一 黄麻 ヲシテリ一ナ 百四十 支

一 唐土 セルウサ 四十 支

一 鈔燒返 ロンヒイユステ 五十 支

一 カンズイ石 アヒスカナメナアリス 二十四 支

一 乳香 唐金屋火蓋ノ塊土代ニ寒水石ヲ用製方寒水石土器ニ入火上ニ置ハチクト云時下シ花ノ水ニ洗漬ス燒テ如右七度程スル也 二十四 支

右六味先ヲ、リヨムセウ鍋ニ入煎解シ尽ルヲ
度ス鍋ヲ下シ残ル茶ヲ入煉醒ス

リヲア子ム持様

一口ウサノ油ニリヲア子ム実ヒタ、ニ漬置若リ
ラア子ム無時ハヲ、リヨム口サア口ム可也

主治腫物ノ痛ヲ止テ散ス強ク堅マルヲ解シ便
毒初癩ニ貼也痲濕疥瘡気腫ニヨシ瘰癧六痛ヲ
散ス也筋骨痛ヲ和或濕瘡ヲ乾ス也

小茴香 性温

肉桂 三十二 朶

菊花 十二 朶

肉豆蔻 四十八 朶

イシヌムスカアト 四 朶

一メウ 二十 朶

一ツリバアスム 同

一ツシイナ 八 朶

一ツシイナ 五十六 朶

右ハ味先カ、リヨムカモメイリセウ鍋ニ入煎

シ解シ能文七合シ鍋ヲ下シコミイニイハツカ

入次ニヒイニス入次ニメウヲリバアスム入煉

醒ス又イシスム前日ヨリヲ、リヨムニ漬置也

主治諸痛冷症痺レ痿テ骨節引ツリ痰ニテ胸痛

又ハ膿痛痞ニ貼テ痛ヲ和ケ気ヲ開ク也

性温 四十八 朶

黄 百六十 朶

一ツシイナ

一ツシイナ

一ツシイナ

一ツシイナ

一ツシイナ

一乳香
一タリバアスム
一ムテレヒン
一テイナ

四支

一メラ

同

一コルホウニヤ

十六支

一コ口ウシイ

二支

右七味先ヨハリヨムセウ入煎解シ鍋ヲ下シタ
クシスコルカニヤ入次ニヨリハアスム入次ニ
メラコ口ウシイ入煉醒スコ口ウシイ焼酎ニニ
ニ度漬シ能摺テ布ニテ漉シ滓ヲ去其内ニメラ
入七日程漬置也尤焼酎サシソへ器ニ入置使フ
気ノ出ス様メ後メラノ渣モ瀘取器ニ入置也
主治諸腫物可散ハ散可膿シ痛ヲ和ケ凡湿ニテ
腫痛ニニヨシ瘰疬十トニハエソフラストバジ

リコム少シ加テ貼ス

性大温

一黄芩
一セラシテリイナ

四十八支

一コルホウニヤ

同

一名
一ヒイシスナアハレム

同

一ヨリハアタム

十六支

一メラ

同

一カ
一ムテレヒン
一テイナ

三十二支

一コ口ウシイ

八支

右七味先コ口ホウニヤセウ鍋ニ入煎シ解シセ
ヲ解テ後ヒイシス入能交合コ口ウシイメラ汁
ヲ入水気去迄微火ニテ煉リ鍋ヲ下シ布ニテ漉
入也コ口ウシイ樽ヤウ前ニ回 主治骨節痛シヒ

レクジキ久硬腫疥膝腰痛頭痛齒痛面腫物物痛
 疼痛腹痛大人小兒共ニ貼ス又引上膿ス痛風ニ
 ハ。デアキロニコムス加テ傳便毒ロアケニ腫上
 ラヌニ付又是ニテモ上ラズハテアキロム、ス
 ラキ加貼ス或ハ脚氣ニヨシ金瘡カスカイニ用
 又酒毒滯リ強ク痛息ニサワリ声フルウニテベ
 ンシイヒヨム等分ニメ用若痛止ザル時メリク
 リユス加貼ス又此レニテモ止サレハコミイニ
 イホ分ニメ付夫ニテモ不止バダラア子ス中右
 知テ付レハ痛強クナル也震付テ有其時内菜有
 リ痛取ハヲシコロシヨムニテヤキロムホ分メ
 貼スレハ痛引上ル痛焼耐木綿ニ浸痛所ニ置其
 上焼針ニテ湿跡ニヲシコロシムケ
 コミイニイ大

交貼ス痛止其時内菜大事小兒腹滿強ク脹出
 ナトシタルニヨシ又中風ニヨシ

香葉油 九十六 匁
 全椒粉 二百八十四 匁
 白樟 百五十五 匁
 杉脂 三十二 匁
 水銀 同
 乳膏 六十四 匁
 右九味先ヲ、リヨムリツタリ 錫ニ入天水五合

入 微火ニテ煉 サクシユシキヤホルシイテ
ノ アルケン入次ニメラヨリハアスレ入煉 腥ス

一 ^{蚯蚓} アニス 薑 但青ヒキ可也
リコヨリヨムテレステリム五十六支

以上ニ味ヲ焼酎ニテ能、洗又別ノ焼酎漬置
初洗タル焼酎ヲ布ニテ漉シ渣ヲ去後漬シタ
ル焼酎ト合テ掛目三百八十四支ニ而右ニ味

一 小菊葉 少ホ
ウリヤーエシフ口ウレスマテリカアリヤ

六 支 三十二支

一 野菊油 一 百合油 一 茴香油
、リヨムカモメイリ 同 同

一 茴香油 一 茴香油 一 茴香油
、リヨムレリヨウ口ム 同 同

右四味前ノ焼酎ノ中ニ入一日一夜浸シ置微火
ニテ煉焼酎ノ水去去迄煉布ニテ漉シ渣ヲ去

水銀散 油斗取
アルケンテイヒイク 搦様

右テレメンテイーニ和メ能、摺交アルケンテ
イヲ殺可遣フリヨウニヤ和メ能、摺交アルケ

ンテイヲ殺メ可遣 一 フリヨウニヤ和名鬼トコ
口ノ根形状内黄メ外色白シ葉葡萄ニ似花小メ

白シ実初青熟スレハハ赤ク成也根大ニメ長ク
批ニ入ル下深シ味苦主治骨節痛脚氣痛凡

又諸腫物身色ニ而腫コハリ強キ宜シ大人小兒
痰痛ヲ押散身濕痛ヲ和也

メリクリユス

一 アクシニエンキヤホルシイ 九十六棗

一 メヲリハアスム 同 八棗

一 アルケンテイヒイク 同 十六棗

右六味先アクシニエンリツタリ 錫ニ入水五合加 煉リ其餘前ニ同シ 主治下疳腫痛ヨシ散又便

毒惣メ堅腫物ヲ解愈ス又ハ筋骨節、牽痛シ或 脚氣凡強痛ニ宜又諸腫物身色ニテ強痛ヲ解父

ヲア子スニ少シ弱シ然也此膏ダラア子スニ同 性寒

一 サホウ子スヘ子タア 四十棗

一 乳香油 九十六棗

一 母 四十棗

一 唐土 同

一 カンフル 八棗

右五味先サホウ子スヲ錫ニ入天水五合入微火

ニテ煎シヲ、リヨムミイニイ能、煉合次ニセ

ルウザ入錫ヲ下シカンフルヲ入煉醒ス 主治

諸ノ腫物腐ヲ止ム至極冷性ノ膏ナル工工冷証ノ

痛ヲ止手足身色ニ而皆痛ニ付テヨシ或ハ腫物ヲ押シ熱

ヲ醒シ又氣ヲ週シ疔瘡水腫レニ付テ宜

一 玉乳香 百二十八棗

一 フ、リヨム

黄塩

ラシテリイナ

百九十二支

赤石脂

ウレスアルメニヤ

百十二支

一丹

サニキスダラコウ子ス

三十二支

一丹

三イニイ

同

一乳香

メラ

同

三十支

右七味先ヲ、リヨムセラホウレヌ三イニイ錫ニ入天水五合入微火ニテ能煉水気去テサニキテ又ヲ入錫ヲ下シ金瘡血熱強キ症ニヨシ又打身ニテ筋寧痛ニ傳或ハ筋骨ノ痛又上膏ニモ用也

バジリコム

性温

一

ハリヨムコメニス

二十四支

一

イシスナアハレム

九十六支

一

ラシテリイナ

同

一

コルホウニヤ

同

右煉様ヲシコロムニ同シ 主治瘡疽疥諸腫物可散腫ル者ハ陽分ニ引上口ヲ破ル諸上膏ニ使フ小瘡湿瘡乳瘡懸瘡唇瘡使毒腹瘡ニハテキ口ニコム々、スホ分ニメ用又疼温ニ付テヨ肉ヲ生痛ヲ止膿ヲ引上腫ヲ減シ腐ヲ切燥シ愈ス能ハデアキロシニ少シ弱シ

一丹

三イニイ

性平

九十六支

一^六油
、リヨムコメニス

百九十二支

一^黄麻
ラシテリイ十

四十支

一^鈹燒
コルホウニヤ

三十二支

一^鈹燒
口ンビイユステイ

十六支

右五味先三イニイヲ、リヨム
入煉次ニセラコ口ホウニヤヲ入能々交水気去
テ鍋ヲ下シ膏醒ル節フ口ンビイヲ入煉上ル也
又方

一
三イニイ

九十六支

一^六油
セラシテリイ十

十六支

一^六油
ヲ、リヨムコメニス

百六十支

右三味天水五合程入水気去迄微火ニテ煉也若
加減悪クハ又水見合入能々煉也 主治諸腫物

痛ヲ止温メ散シ又引上今膿ス口ヲ破膿ヲ吸腫

ヲ裁シ肉ヲ上皮ヲ生メ愈ス或腰膝手足痛其外

諸瘡ヲ燥シイヤス一切ノ腫物切疵火傷ニ傳ヲ

シ此膏某化テ万病ニ付諸上膏ニ用也 姓冷

一^乙切^牛油
ステキテフムパーセルシイ 百四十四支

一^金猪^油
リツタリケイリイ 同

一^ラウ^リイ^ニ油^本ニ^十シ
ヲ、リヨムヲウリイニイ 十六支

一^黄蠟
セラシテリイ十 四十八支

一^メラ
メラ 二十支

一^乳香
ヲリハアスム 同

一^シマ^ク
コムテレピンテイ十 同

一^シマ^ク
クニイテス 八支

一 コルホウニヤ 三十三 麦

右 凡味先ヲ、リヨムリツタリ 錫ニ入天水五合

入 微火ニテ煉合水気本時セラ入煎解シ錫ヲ下

シ 残ル菜ヲ入煉醒ス 主治 諸痛ヲ和今強リヲ

解 散シ金鉄或竹木ノ刺肉ニ入ニ貼ル或胸背痛

金 瘡カスカイ膏ニ良或冷証腫物湿毒瘡ニモ又

可 也針釘木ノ刺是ニテモ不抜ハ其中肉豆蔻ホ

分 未メ蜜ヲ煉付テヨシ

一 乳香油 一 テレイギル 三 三十四 麦

一 金中物 一 ツタリケイリイ 三 百 麦

一 一三イニイ 四 二百五十 麦

一 アクシユンキヤホルシイ 一 六十 麦

一 コルホウニヤ 二 同

右 五味先ヲ、リヨムリツタリ三イニイアクシ

ユ ン 錫ニ入水五合入微火ニテ煉リ水気去加減

見 合又水多ク入少シ入レハ膏吹上ル也水気去

造 微火ニテ煉ル錫ヲ下シフ口ホウニヤ入煉醒

ス 主治 三イニイニ同シ諸腫物愈兼タルニヨ

シ 脚氣又ハ惣身痛打撲切疵ニヨシ小兒頭瘡ニ

バ シリコムホ分ニ而付口不煉時ハカンフラー

ト ホ分ニメ付或湿瘡田虫ニカンフラーアトヲ上

ニ 薄ク引付妙也

一 松脂 一 ベトウニカ 二 百八十八 麦

一 プタ油 一 シイナヒイニイ 九十六 麦

一大葵根 以上三味

右菜味各九匁ツ、四香ニ煉り油ニ入置微火ニ
テ水気去道煎シ布ニテ漉シ渣ヲ去用右油三百
六十匁丹五十匁入煉搗ニイニイニ月 主治一
切腫物ニ貼メ可膿ハ膿シ可散ハ散ス也一切腫
物ニ付テヨシ

一杉脂
メリクリヤアルサルフ

一杉脂
ムテレメンテイナ 見合

一アルゲンテヒイク 同

右ニ味乳鉢ニテ能、摺交用 主治瘰癧ノ類極

テ湿痛ニ塗テ可也

レイム

一コ口ホウニヤ 十六匁

一杉脂
ムテレヒンテイナ 二十六匁

一古丸
アロミイニイ 八匁

一乱香
リバアスム 同

一赤舌脂
ウレスアルメニヤ 十六匁

右六味極末メ器ニ入貯用ル特雑印ノ白味ニテ
煉付ル 主治金瘡ノカスカヒ膏之

又方

一日本二十
ハルホウテイ 一匁

一杉脂
ムテレヒンテイナ 二匁

一麒麟血
リハアスム 同

一メウ
ンキテスダラコウ子ス 一匁

同

一 卯白味
ア ル ヒ イ ヲ 、 ヒ イ

一 箇

日本ナシ 又方

一 淡花散
リ イ ナ ア ホ ウ テ リ ス

一 乳香
リ ハ ア ス ム

一 キリ血
ラ

一 芦蒿
ニ キ テ ス ダ ラ ウ 子 ス

一 卯白味
口 エ ス

一 淡露
ル ヒ イ ヲ 、 ヒ イ

一 杉脂
ク ロ ガ ア シ イ

一 右八味
オ ク ス カ イ 膏 也

一 右五味
コ ホ ウ ニ ヤ

一 右五味
テ レ ビ ン テ イ ナ

一 右五味
コ ム テ レ ビ ン テ イ ナ

二十四 廿
四十八 廿

一 右五味
イ シ ス ナ ハ ア リ ス

一 右五味
リ ヨ ム エ ペ レ シ イ

一 右五味
ウ レ ス ア ル メ ニ ヤ

一 右五味
右五味 一番ニコ口ホウニヤタクシスヒイシス

一 右五味
入煮 解次ニヲ、リヨム入煮 澆シ 鍋ヲ下シホメ

一 右五味
ニカ タニホウレスヲ入 棟也

一 右五味
日本ニ多有然此道不知

一 右五味
ア 木 リ コ ス

一 右五味
ア 木 ク シ ニ キ ヤ ホ ル シ イ

一 右五味
水銀 ル ケ ン テ イ ヒ イ

一 右五味
上品 湯花

一 右五味
テ レ メ シ テ イ ナ

一 右五味
右五味

性大寒
五 朮
同
二 朮
同
口 傳

ヲシコ口シヨム

一黄精
口ホウニヤ

一七葉蓮
ラシテリイナ

一日本二十
イシスナアハアリム

一十
ムアモニヤアカ

一杉脂
ムガルハアスム

一煎花
ムテレメンテイナ

一乳酒
口ウシイ

一玉乳香
ラ
リハアスム

一
ステキス

右十味煉様同前

アンノウラースト終

九廿六方

各十六支

四十八支

同

解シ酢共ニ入煉セ
カルアスムト向ク細末ニメ酢ニシテニ味

和蘭流膏藥伊牟久惠年符方

エケロシヤコン

性温 書卷下

一綠青
アルキイニス

四十支

一蜜
アロシイニスコリユデウ

百十二支

一酢
アセイシ

先半分入 五十六支

右四味メルリス羌末葉ニ味アセイキイ量目半

分鍋ニ入微火ニテ能煉水気去色赤成時残ノア

セイキイ入煉醒ス 主治腫物腐ニバシリコム

ハス強腐タルニモヨシ或イボアザ入ホク口杯

ニハセユスコムホ分加テ扱也亦腫物アライ葉

文合口中腐走馬油赤鷲虫石碣虫ニヨシ

カンフラアト

性冷寒

一ヨ、リヨム口ザアロム

一 九十六 棗

一白蟻
セラアルバア

一 二十四 棗

一カ
ンフル

二 二 棗

一唐土
セルウザ

四十八 棗

右四味先ヨ、リヨムセラ鍋ニ入煮餅テ後鍋ヲ

下シ次ニカンフル入又醒方ニセルウザ入煉上

ル也 主治胎腫物焚アル者ヲ醒シ腫ヲ減シ痛

軟温気ノ腫物ニハ不用下痔温焚ニテ腫タルニ

貼若腫不減時ハヘレシヒタアトヲ加貼ス立ト

コ口ニ減尤甚熱アル腫物ニハ不可傳脂カブレ

マケタルニヨシ火傷温焚ノ痛ニヨシ口膏或腫

物ニ痒有ハバシリコン取又瘰肉毛切或ケニ肉

ニハペレシヒタアト取加又肉上リスギタルニ

ハ肉上下府愈藥ニモ同田虫瘡甚痛膿汁強出ニ

モ同或ハ諸腫物ヲ押散シ漿ス

性温 百九十二 棗

一黄蠟
セラテリイナ

一コ
ルホウニヤ

一松脂
コム

右四味先△カキヌムセラ鍋ニ入解テ後鍋ヲ下

シサメ方ニコ口ホウニヤコムヒイニス入煉醒

ス也 主治諸腫物軟痛或冷性或腫物温或午足

臂節、身色ニ而痛ニヨシ又ハ小兒胎毒ニテ瘡

出膿汁ニカンフルトニ交合貼テヨシ

ムカギノ油 アルテイヤコシイトム 性温 百九十二 圭

黄蘗 コロホウニヤ 二十八 圭

乳香 ヲラ 四十八 圭

板脂 テレメンテイシ 十二 圭

右七味煉様同前

主治 諸腫物温メ和ケ散膿引上痛凡筋骨ノ痛冷

證ナル腫物温メ手足冷痺レ節、身色ニ而痛ニ

宜シ但シシンフレイキス同シ

性温 四十八 圭

一セラシテリイナ 四十八 圭

一ヤコルホウニヤ 同 四十八 圭

一ヤヒイシスナアハアリス 百九十二 圭

右四味先ヲ、リヨムセウ鋸ニ入次コ口ホウニ

ヤヒイシス入能交合煉様上アトスト同

シ 主治 諸腫物可散者温散不散者引上口ヲ切

腐肉ヲ去在肉ス能燥シ愈ス一切腫物ノメイチ

ヤニ用或ハ大ナル梅毒腐深時是ヲ題メテギス

テイヒヨシ三合交貼瘰肉ヲ切膿ヲ及若又腐肉

切雜キニハヒツテルヨウル火シ交合夫ニテモ

無驗時ハカンアラト交貼腐肉取タラハバシ

リコム討可傳七分程愈ハペレシヒタアト交可

傳便毒ニモ如是或ハ疥瘡初桑バシリコン貼腐

レ強或腐肉多キ時ベレシヒ夕アト三分交用或
金瘡ナト強ク膿甚痛ニハバシリコニ工个ビシ
ヤコム見合交テ腐肉ヲ切痛ヲ愈ス也

合方

一バシリコム題メデギステイヒヨム三方交合腫
物一切膿タルニヨシ口膏或金瘡ニ附テ膿ヲモタ
ズ

一バシリコニ題ニメヒツテルヨウル又バシリコ
ニ題而ヒツテルヨウルカンフ元ト右腐肉浅深
從テ可貼也

性冷

十六支

二十四支

一^{ラト皮油}アツタアンベスタア
一^雞ア^油テキスサムフーシイ
一^雞ア^油テイフスカリンヤ

一^{唐土}セテシテリイナア

同 同 同

二支

右六味ヲ、リヨムセウ鍋ニ入剪トカシ次二三
イニイセルウサ入レ能交合鍋ヲ下シ醒方ニカ
ニフル入テ煉上也 主治湯火傷ニ貼妙也諸腫
物散スニモヨシ或子ガキ愈サルニ用或ハ下疳
上膏又ハ陰囊色取焚有テ痒ク湿気出ニ用又
火傷痛強ニカンフヲト少加又小見水瘡或ハ
腫物ノ腐ヲ取新ニ肉ヲ生シ皮ヲ生シ又小見胎
毒ニテ陰莖陰囊肛門辺ノ瘡ヲ愈スニハ枯丸
ヲ交ル

一^上油
ヲ、リヨムコメニス

性温
百二十八

一セラシテリイナ

三十二

一^{杉脂}コ口ホウニヤ

六十四

一^{乳香}コムテレヒンテイナ

十二

一^{紅花}メラ

八

一^{紅花}コウシイ

同

右七味煉様同前 主治諸腫物温メ和ヶ散シ膿

ス引上又ハ痛凡筋骨金瘡ノ口音節々ノ痛温冷

ノ腫物手足痺痿又腫物ノ膿力又ルニヨシ惣テ

能ハアウリレヨムニ同又痼湿惡瘡ノ類上ハ愈

タル様メ疵ニ傷アル腫物ニハイヤ甘又仕楸ヶ

ヨシ粘凡ヲ交セ付レハ不愈メ傷肉ヲ取ル皮ヲ

上テ自愈

レ^レゲレンス

一^{菜油}ヲ、リヨムコサア口ム

三十二

右二味鍋ニ入セウ解タル時鍋ヲ下冷水ニテ能

洗七八度後革ノ水ニテ一度洗酢ヲ少加水気持

ナカラ用敷度アウハ油気又クル也

主治腫物痛ヲ止腫強ヲ和ヶ筋ヲ延シ熱ヲ醒シ

新肉ヲ生シ適タルヲ減シ方ハへレシヒタアト

吹合貼又小瘡ニヨシ面腫色白キ様ニ見へ青色

引タルニ用也

性寒

ビユスコム

日本コシ
ルコウタルヒツテルヨウル 十六支

草五
セリトウ子ムマ 二十四支

緑青
アルキイニイ 十支

丹丸
フレキマアテヒツテリヨウイ 十六支

蜜
メルリス 同

右五味煉様正ヶヒシヤコムニ同醒方ニ酢ヲ入

煉上也セリトウ子ムルノ和各中ノ尾ト云此中

ヲ能、摺碎キ酢四十支ヲ菜ヒ夕クニメ一日一

夜浸置汁黄色ニ成時ニ拭目ニ十四支取アセイ

ン尾ニ入煉也 治諸腫物ノ口ヲ明腐ヲ切

又方

日本コシ
ルコウタルヒツテルヨウル 十六支

酢
アセイ 二十四支

丹丸
フレキマアテスヒツテルヨウル 十六支

緑青
アルギーニス 十支

蜜
メルリス 四十支

ウシ
キユルキウマ 八支

右六味煉様ヒツテルヨウアルキーニスアセ

インメルリス一同ニ入微火ニテ煉少水多持キ

ユルキウマ入煉上ル

茨油
ノテリトム 九十支

金砂粉
ツタリケイイ 二十支

酢
アセイ 見合

右煉様火ナシニ焚灰斗ニテ漸々煉誥ル也

主治小瘡表ノ痛ヲ止皮ヲ生能乾ス也

白丹丸 ランメント
 明丸 ツテルヨウルアルヒイ 一分
 蜜丸 アルミイニス 五分
 酢丸 メルリス 四分
 酢丸 アセイキイ 一分
 右ニ味細末メメルリスアセイキイニ入交合振
 立用ル也 主治下疳洗テヨシ浸シ付ル
 又方
 酢丸 アセイキイ 一分
 一丸 テーワアトル 同
 若丸 ツテルヨウルアルヒイ 二匁
 白丹丸 ル工ス 同
 一丸 茨蜜丸 リ口サアロム 四匁

以上五味
紅毛油水藥之書終

崎陽 吉雄永純譯
 ヲ、リヨム、カキスム

女ノ諸腹痛ニハ蠶霜ヲ白湯ニ而送下妙也又指
 杯腐肉トレテ右愈肉上リタル時付レバ即時愈
 也

烏梅霜 酢入煉ル
 主治愈カヌル瘡ニ付即愈也

弘化二年乙巳孟夏調之

恬齋藏書

